

【須崎市】
校務 DX 計画

本市においては、高知県内で統一した校務支援システムの運用、GIGA スクール構想で整備された教員用端末及び Google アカウントを使用したクラウドサービスの活用、家庭連絡システム「すぐる」による家庭連絡の効率化及び簡素化等を通じ、校務 DX を推進してきた。一方で、セキュリティ対策を重視したネットワーク環境整備に伴う校務を行う場所の制限、学校間・教員間での取り組みの格差の発生等の課題も存在する。

そこで、今後、下記のとおり校務 DX の一層の推進を図る。

○FAX・押印の原則廃止

一部の緊急連絡や教育ネットワークの不具合時等、FAX のほうが電子メール等より効率的な場合を除き、FAX 及び押印の原則廃止に向けて、各種行政機関及び学校とやりとりのある事業者に対して、市教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行う。

○校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃

当市では、校務支援システムへの名簿情報の入力については、市教育委員会から学校へ学齢簿名簿を CSV 形式で提供し、手入力作業の削減による教員の負担軽減を図っている。

○クラウド環境の活用

クラウドサービスの活用により、各種調査の回答や会議資料等におけるペーパーレス化を推進する。また、家庭とのやりとりについても、積極的にクラウドサービスを活用し、効率化を図る。

○ネットワーク環境の整備

国や他の自治体の動向も注視し、ゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき、多要素認証・アクセス制御等によるセキュリティ対策を十分講じたうえでの校務系・学習系ネットワークの統合に関する研究を進める。

○次世代の校務支援システムの導入

高知県内で統一した校務支援システムを導入していることから、今後も高知県内の自治体と足並みをそろえ、次世代の校務支援システムの検討及び導入を進める。